

北九州
市議会
だより

PRESS

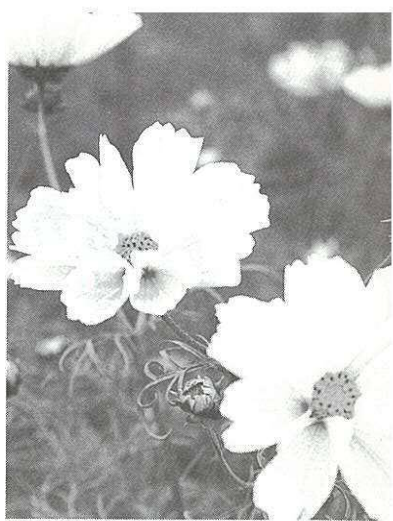
No. 139

平成9年10月15日号

9月定例会で8年度各会計決算を認定



親子米作り教室（小倉南区大字曾根にて）。



9月定例会

本会議の質問と答弁

本会議では、20人の議員が議案や行財政改革、その他市政全般について質問を行いました。その中から、いくつかを紹介いたします。

9月定例会は、9月2日から9月29日まで開かれました。
市長から平成8年度決算など45件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を可決（認定）しました。
また、議員から提出された議案は15件で、うち6件を可決しました。

生産性の高い

市役所へ

議員 本市の厳しい財政事情を考えると、最小のコストで、最大のサービスを提供する生産性の高い市役所としていくべきだ。そのために、事業執行にかかる経費削減の努力や結果（不用額）を積極的に評価するシステムの導入をどうするか。

市長 八年度から予算編成に較ではなくゼロから施策や事業を見直すやり方を行っている。職員もだんだん慣れてきているが、次年度の予算を削られないように使い切ってしまうという風土を改めるよう一生懸命取り組んでいる。不用額を残すことを評価する風土は作っていきたいが、もつと積極的という提案については、評価の客観的な基準が一律に決まにくいので勉強させてほしい。

期待しています！

知的障害者の権利擁護を

議員 今年の二月定例会で市

は、知的障害者を人権侵害から守るため、弁護士会と相談し検討を行うと答えたが、その後どのように進んでいるか。

保健福祉 知的障害者は、意思決定能力や伝達能力が十分でない場合も多いため、基本的な権利の侵害を受けやすい状況にあり、権利を擁護するシステムづくりは、市の重要課題であると考えている。

障害者の権利擁護に関する相談の必要性も高まっており、現在弁護士会に法律相談への協力を申し入れている。九月中に弁護士会と各種障害者団体で、権利擁護や財産管理に関する法律相談の研究会を開催し、その後、法律相談のモデル実施を行いたい。

また近く、弁護士会から高齢者や知的障害者の財産管理システムについて市に提言が行われる。これを受けて研究も行っていきたい。

廃棄物をゼロに

資源循環型社会の構築

議員 国の「エコタウン事業」の承認を受けたが、この事業の取り組みについて、本市の基本的な考え方をお尋ねする。

また、地元の環境保全と事業の推進という点での安全性についてどう考えているのか。

市長 エコタウン事業は、全ての廃棄物を他の産業の原料として活用し、廃棄物をゼロにする、資源循環型の社会を構築しようとする施策である。環境産業が、本市のもっている技術の集積を活かし、今後成長が見込まれる分野であることから、

①資源リサイクル技術の研究と事業化の拠点を響灘地区に整備し、新産業の創造と雇用増大を図る②技術の海外移転を図り、国内外の環境問題の解決への寄与、を基本的な考え方としている。

環境 安全性については、本局 市長 市に蓄積された環境対策技術を基盤に、全国のモデルとなるような、安全でクリーンな産業立地を進めていきたい。

行財政改革

民間の知恵と力の活用を

議員 行財政改革大綱策定にあたり、公民の役割分担について、市長の見解は？

市長 公民の役割分担について、今回ほど意識して取り組んだことはなかった。民間が育ってきた今日では、行政より

新たな飛躍のために「ルネッサンス構想」三次計画

議員 行革の取り組みは、十一年度までをひと区切りとしている。十一年度から始まるルネッサンス構想第三次実施計画の方向性はどうか。

市長 第三次の方向性については、議会の意見も聞きながら方針を定めるが、これまで社会資本整備、福祉の充実、市民生活の向上、文化の向上などバ

市立病院の役割とは？

議員 今回の大綱では、門司・戸畑病院の縮小が示されている。市立病院が果たすべき公的医療機関としての役割をどう考えているのか。

市長 これまでは、公的な医療機関や保健所は、地域に不足する医療保健サービスを提供する役割を担っていた。

しかし、今日では民間医療機関の集積が進み、本市では七年の人口十万人当たりの総合病院の病院数・ベッド数が指定都市で一番となっている。
したがって、今後は癌やエイズや難病などの高次医療や救急医療、少子高齢化など時代の変化に対応した役割が求められると思う。



若松病院外来待合室

成人祭はスペースワールドで!

▶平成10年成人祭◀

成人祭のあり方を廃止を含めて検討した結果、全市民が祝い励ます成人祭として今年度も引き続き実施することとし、会場はスペースワールドとなりました。

議員の「新成人としての自覚をどう促すのか」との問いに、教育長は「新成人、一般市民、行政からなる実行委員会にて成人式の企画運営を行うが、実施内容に市長の直接メッセージや新成人の代表の誓いのことを盛り込むなどを考えている」と答えました。

また「青年の主張や国際親善の一翼を担う事業を組み込んで」との提案に対し、「提案の趣旨を十分反映できるように検討し、新成人の思い出に残るものになりたい」と答えました。



白野江人工島は必要か?

議員 今後のコンテナ取扱量を過大に予測して白野江人工島(門司区白野江沖)の建設計画を進めているが、中止すべきではないか。

港長 国は、ハブポートとして国際港湾に北九州港を位置づけ、重点投資を決めている。

今後、北九州港が、環黄海圏のハブポートとなるためには、二つの課題がある。一つは、北米・欧州航路を中心とする基幹航路に対応した響灘水深コンテナターミナルを早急に、しかも安価に整備すること。二つ目は、アジアを中心としたコンテナ貨物量の増大に対応するコンテナターミナルの計

画的な整備で、これに対応した白野江コンテナターミナルの整備は必要なものと考えている。

入権教育のための

国連10年の取組

本市の状況は?

議員 国連総会において六年に一人権文化の創造を目指す「一人権教育のための国連10年」が定められた。国・県ともにその推進本部が設置され、特に国では国内行動計画も発表された。

本市での推進本部の設置と行動計画づくりの進み具合はどうか。

保健福祉局長 「一人権教育のための国連10年」の取組とは、

憲法が保障する法の下での平等、個人の尊重といった人権尊重の理念について、市民の理解を深めることを目的とした教育や啓発の充実強化であると理解している。

本市では、近いうちに市長を本部長とする推進本部を設置し、七月に出た国の国内行動計画を基本にしながら、本市の実態に合った行動計画を定めていきたい。

今後行われるの?

身障者対象の職員採用試験

議員 本市で初めて、身障者を対象とする別枠の職員採用試験が今年行われる。

市が積極的に身障者を雇用することで、障害者の能力活用、民間の雇用促進に向けた波及効果も期待することができると考える。

今後の基本的な方針はどうか。

総務局長 身障者の雇用を、市が積極的に進めていく立場にあることは十分承知しているが、公務員採用には、平等公開、成績主義という原則があり、今回は法定雇用率維持のための特例である。

今後の試験については、退職者見込みや十年七月に法定雇用率の引き上げが予定されていることから、当分の間継続的に実施していくことになるかと考えている。

行財政改革

市民の理解をもっと広く、もっと深く!

議員 今後取り組む具体的な見直しは、市民の理解を十分に得たうえで実行に移すことが何よりも大切である。どう対応していくのか。

総務局長 これまで市民の理解と協力を得るために出前講演やシンポジウムなどに取り組んできた。

今後はこれまでに以上に積極的に市民に理解を求めていく必要があると考えている。

どうして続けられないの? 老人医療制度

議員 他市に比べ優れた本市の老人医療費給付制度を残していく努力が必要である。年齢制限の引き上げは、国の医療保険や介護保険の導入状況を見ながら検討するほうが妥当で、この制度を三年毎に社会情勢に応じて見直すことを提案する。

市長 少子・高齢化の急速な進展や、平均寿命の伸びなど、保健福祉を取り巻く状況は大きく変わり、市民ニーズも多様化して、昭和四十年代にできた現行制度では、時代に即した対応が十分にできない。

このため、少子・高齢化対策、障害者福祉、健康づくり事業の基本的な計画を策定し、取り組んでいる。

一方、この制度を維持するために市民一人当たり七千四百円、納税義務者一人当たり七千四百円の負担をお願いしており、これは他の指定都市の三倍で、最も高い負担である。

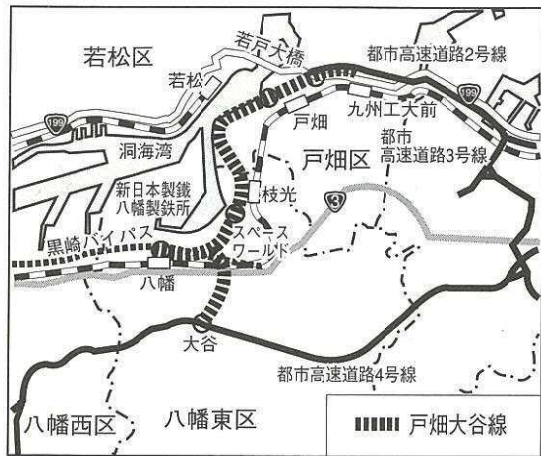
こういったことから、今回の見直しは、大綱で示した案を市民の理解を得ながら着実に実現していくことが責務であると考えており、是非理解をいただきたい。

守られなかったら、どうするの? びみまのまナー

議員 ごみ収集に指定袋制を導入した場合、指定袋以外で出されたごみはどうするか。

環境局長 指定袋以外で出されたごみは、指定袋制の定着、公平性確保の観点から、原則

として収集すべきでないと考えている。指定袋以外でごみが出された場合は、行政による指導はもとより、警告シールの貼付、自治会などの地域団体と連携した指導体制の整備など、より細かな指導を行うことを検討している。



都市高速道路

戸畑大谷線の完成は？

議員 都市高速道路戸畑大谷線の工事着工と完成時期はいつ頃になるのか。

都市計画局長 戸畑大谷線沿線の東田地区や戸畑駅南口地区では大規模プロジェクトが展開されており、これらを推進するため、その早期整備が強く望まれている。そこで十年度から事業着手できるように国に概算要求をしている。

整備の基本方針としては、まず大谷・枝光間を、引き続き枝光・戸畑間を整備し、十七年には全線供用したい。

現在、地元に対して十年度事業着手に向けた概略スケジュールの説明を行っており、国県等との協議がましまり次第、地元関係者の理解と協力を得て、来年度中に都市計画の変更を行いたい。

市職員採用に

国籍条項を撤廃しては？

議員 市職員の採用にあつて、国籍条項を撤廃する動きが川崎市をはじめ全国の自治体で広がっている。本市でも撤廃を検討する考えはないか。

総務局長 本市では、一般事務員など八職種を除く四十四職種ですべてに除外をしている。行政職については、まだ多くの自治体が国籍要件を設けている。

また、撤廃に踏み切った自治体でも、公権力の行使等に携わる職員には日本国籍が必要という国の考えから、配置や昇任など、任用面でなんらかの制約を設け、人事管理上の難しい問題を残している。本市としては、今後、慎重に検討する必要があると考えている。

黒崎副都心開発工場の

商店街の繁栄策は？

議員 直方市や中間市といった黒崎周辺の郊外大型店は繁栄しているが、黒崎商店街への対策はあるのか。

経済局長 周辺地区の商業集積の魅力を相対的に低下し、消費者の吸引力が弱まっている。このような状況に対応し、黒崎地区の活性化を図るため、「文化と産業の個性あふれるまち、いき

いき黒崎」を目標に副都心整備計画を進めている。

地元商店街でもこの副都心計画を活かし、魅力ある商店街づくりに向け勉強会を実施する機運が高まっている。市としても商店街の主体的な取り組みを積極的に支援していきたい。

全力で取り組みます！

▼児童生徒の安全対策▲

議員 神戸市、春日市での事件の再発防止策として、各地域での出前講演の実施や欠席児童生徒の再確認及び学校と家庭の連絡体制の強化、「こども一〇番のいえ」運動の拡充などを提案するがどうか。

教育局長 学校ではすでに、地区懇談会や地域会議等で保護者や地域の方々に児童生徒の安全対策について、理解や協力を求めている。今後も積極的に対応するよう指導していきたい。

また、学級担任は、毎朝出勤状況の把握を行い、欠席理由の不明な子どもの家庭とはすぐ連絡を取り、必要があれば家庭訪問を行っている。家庭や地域との連携について、さらに指導の徹底を図りたい。

「こども一〇番のいえ」運動については、PTA協議会などの団体に積極的に協力を要請した結果、八幡西区の全小学校区での実施をはじめ、各区でそれぞれ取り組まれている。

今後とも、この働きかけを強め安全確保に努めたい。

もっと知ってほしい

紫川の橋づくり

議員 紫川の橋づくりに対して市民の理解が十分に得られていないようだ。PRがもっと必要ではないか。

市長 紫川マイタウン・マイリバー整備事業は、小倉駅周辺と並ぶ都心政策の重要な柱であり、川と周辺の民間の開発、道路・住宅の整備をあわせて行うもので、市民の意見をとり入れて計画を策定した。八年度末で、公共が七〇％、民間が二〇％程度進捗している。

これまで事業への理解を深めるための出前講演を実施してきたが、橋の整備が他の事業に先行したことや、都心の顔ということからグレイドアップした点に批判があるの

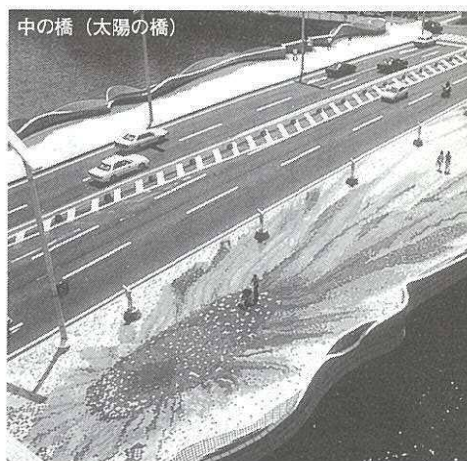
かもしれない。

都心の改造として、時間もお金もかかる事業であり、仕上がりも長い目で見ていただきたい。

建設局長 これまで市民に事業への理解・協力を得るため、アンケート、出前講演を行った。

さらに紫川での市民参加型イベントも行い、きれいになった紫川を実感してもらっている。

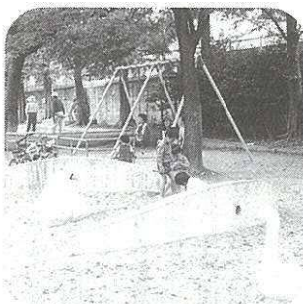
今後とも事業のPRの機会を増やしていきたい。



きれいな砂場で遊ばせたい！ 公園砂場の衛生対策

近年、身近な公園の砂場で、犬・猫の糞尿による汚れが指摘されています。

砂場の衛生対策について、議員から質問があり、建設局長は、「従来から、汚物の除去や砂の入れ替えなどを行ってきた。8年度からは、新たに砂場清掃班を設置し、清掃を強化した。一部の公園では公園愛護会の協力により、砂場のシートかけ



などを行っている。抗菌剤の散布も行っており、このほかに、砂洗浄などいろいろな方法の効果や安全性、経済性を検討していきたい」と答えました。

決算特別委員会

—市長質疑から—

9月11日に設置された決算特別委員会は、3つの分科会に分かれて、審議を行いました。

9月19日に行われた市長との質疑の中から、いくつかを紹介します。

Q 新若戸道路の着工の予定を問う。

また、道路は有料となるのか、無料となるのか。

A 新若戸道路は運輸省と建設省との連携事業に位置付けられ、現在両者との協議を進めるためのルート選定、工法などの検討を行っている。10年度後半に都市計画決定を行い、11年度には工事着手できるように努力したい。

道路のできる時期は有料か無料かで違って来る。無料にこしたことはないが有料であれば早くなる。今後の交通事情を考えると、有料か無料かのどちらをとるかの選択を迫られることになる。有料とした場合でも若戸大橋の料金を超えることはないと思っている。

Q ヤオハンジャパンが会社更生法適用申請を行った。FAZ事業をストップし、予算を凍結することを求めるがどうか。

A FAZ事業そのものは、北九州の地の利を活かして物流拠点を整備し、市を浮揚するために空港、港湾と並んで必要な施策であり、今後も事業を推進していく。IMM北九州（ヤオハン）とキプロとに契約があるので、今後どのように推移するのか、事態を受けとめて、善後策を講じていく。

予算の凍結は、問題の解決にならないので、今現在考えていない。

Q 本市の高齢化社会対策は、今後どういうところを強めていく考えなのか。

A 在宅を中心とする地域福祉のネットワークづくり、成人病や高齢者の寝たきり等を予防するための健康づくり、少子化対策の3点について重点的に取り組みたい。特に、後期高齢者（75歳以上の高齢者）に対しては、北九州らしさを活かした地域で支える仕組みづくりを、より強固にすることに力を入れて取り組んでいきたい。

Q 本市で、大規模な市民参加のできるシティマラソンを実施してはどうか。また、メディアドームを使用した全国的、国際的な規模のものを誘致してはどうか。

A 新たに北九州シティマラソンを開催しては、という提案だが、新規のマラソンの認定が全国的に厳しい傾向にあり、スポーツ関係者の協力など様々な課題もあるため、もう少し時間をかけて検討すべきと考えている。

また、メディアドームを使ったスポーツイベントの誘致については、現在、新たなイベントの掘り起こしを行っており、今後とも力を入れていきたいと思う。

Q 瀬板の森整備事業は官民共同開発による有効な土地利用の先駆的な事業であるが、この事業が今後の官民共同開発や企業遊休地の活用にとどのような役割を果たすと考えているか。

A この事業は、市民から企業遊休地の開放と活用を強く求められ、企業と市が一緒になって計画を作り、一般市民への開放に至った初めてのケースではないかと思う。企業と行政が果たすべき役割を踏まえながら、連携してまちづくりを進めるという意味で今後のモデル事業になってほしい。

Q 高台や急傾斜地に暮らす高齢者などが、より快適に暮らせるまちづくりとして取り組んでいる八幡東区丸山・大谷地区の整備計画をどう進めていくのか。

A 今の場所で暮らしたいという住民の意向にそうよう、できる限り現地で建て替えて住環境改善ができる条件を整え、眺望など斜面地の利点を活かした新しい住まいづくりを行っていく。現在、市では地元代表で組織した推進会のほか、大学の研究者にも参加してもらい具体的な整備について検討中である。事業化にあたっては、建設省の補助制度の導入を検討しており、9年度中に整備計画をとりまとめ、建設大臣承認手続きに入りたい。

自然環境破壊につながるのか？

—平尾台の観光開発—

議員

第三セクター方式による平尾台の開発計画が

もたらす自然環境破壊の危険性について、どう考えているのか。

企画

平尾台は、地元住民の生活や産業と自然環境

の保全とを調整する必要性に加え、最近ではオフロード車の侵入など、平尾台を訪れる人々による自然破壊の問題が生じている。

これらの問題解決を図るため、①自然環境保全②平尾台と周辺地域の活性化③市民が自然と触



れ合える場としての整備、を目的として、第三セクター方式による平尾台整備を進めることとした。この事業の自然環境に与える影響に対しては、県などから事前に指導を受けることとしており、環境破壊につながることは考えていない。

紫川のダム建設

見直しは？

議員

来年、耶馬溪からの送水が始まると、本市の

供給水量は一日最大計画水量の二倍以上となる。建設省が全国のダム計画見直しの方針を示しているなか、本市でも仮称紫川ダムの建設計画を見直してはどうか。

下水道

（仮称）紫川ダムの建設あり、洪水が基本目的で

ともに、良好な河川環境の創出や取水の安定のため、対処すべき課題とされている。

事業主体である県は、9年度に候補地の予備調査に着手することになっており、早期建設に向けて、国及び県に積極的に働きかけていきたい。

いじめや登校拒否へ

みんなで取り組んでいます！

▼スクールカウンセラー▲

議員

教員のカウンセリングや技術養成などを目的と

した「スクールカウンセラー活用調査研究委託事業」の取り組みの現状を問う。

教育長

この事業は、いじめや登校拒否等に対応するために、学校のカウンセリング機

能の充実などを目的としたもので、文部省からの受託事業である。具体的には、臨床心理士が委託された学校に週二回訪問して、児童生徒にカウンセリングを行ったり、教職員や保護者に、助言・援助などを行っている。

委託校では、子どもが気楽に相談室を訪れたり、教職員のカウンセリングに対する意識や技術の向上が見られ

たりするなどの効果が顕著にあがっている。来年度も、スクールカウンセラーの増員について、県や国に強く要望したい。



傍聴・議事堂見学

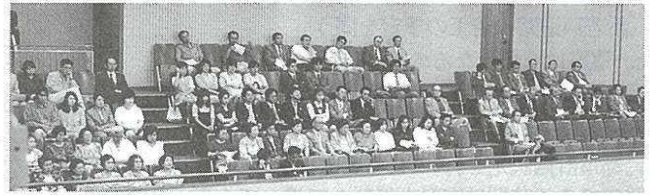
体験してみませんか？—あなたの市議会—

市議会は、市政の方針や重要な事項を決定したり、市長などの執行機関が適正に仕事を行っているかを監視するなどの大切な役割を担い、市民生活に関するいろいろなことが話し合われています。

この市議会の会議の様子や議事堂内は、だれでも見ることが出来ます。

あなたも、市議会に足を運んで、見たり、聞いたりしてみませんか。

問い合わせ先
市議会事務局総務課 (☎582-2621)



▲傍聴風景

傍聴

本会議の傍聴

スタート



傍聴受付

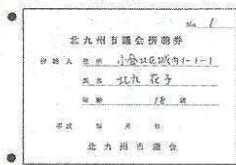


傍聴者入口

■受付では何をしますの？

傍聴券に住所、氏名、年齢を記入してください。

▼傍聴券



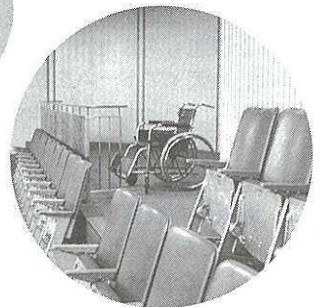
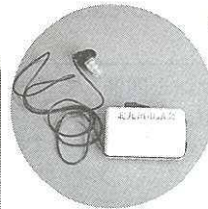
■いつから受付をしますの？

会議の始まる1時間前から、先着順に受付をします。

■何人傍聴できるの？

137人です。
年齢や住所にかかわらずだれでも傍聴できます。

◀議場のマイクの音を聞き取りやすくするための補聴器



▶車いすの方のための傍聴席 (4席分)



傍聴席

▲ご希望の方には、エレベーターをご利用いただけます。

傍聴は、いつでもできるの？

本会議開催中は、いつでも傍聴できます。
二月または三月、六月、九月、十二月に本会議は開かれます。

委員会も、傍聴できるの？

常任委員会と特別委員会の傍聴ができます。傍聴できる人数は十人で、会議の始まる一時間前から、先着順に受付をします。

開催日を知りたいは、WantanGo.

本会議、委員会ともに、開催日の六日前からお知らせしています。

市議会事務局までお問い合わせください。
また、区役所やデパートに置かれている北九州情報ひろば(キャブテン)の健康ライフ北九州でもお知らせしています。



新たに議会運営委員会も

傍聴可能に！

▼十月一日から実施▲

請願や陳情の提出者は、審査時に傍聴できるようになりました。
傍聴できる人数は、他の委員会同様十人です。

傍聴者アンケート結果

九月定例会で本会議を傍聴された方に、アンケートをお願いしました。

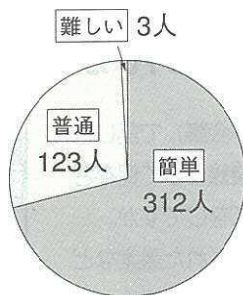
結果は次のとおりです。

(回答者数 四百三十八人)

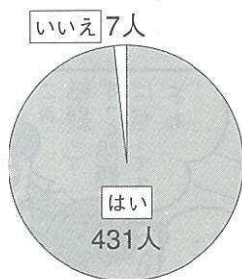
一 これまでに傍聴したことがありますか。



二 傍聴手続きはいかがですか。

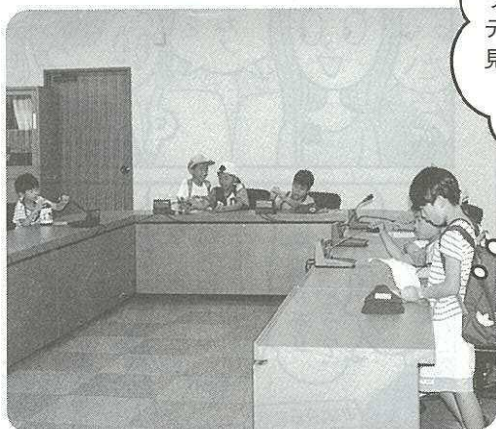


三 また機会があれば、傍聴したいですか。



議事堂見学

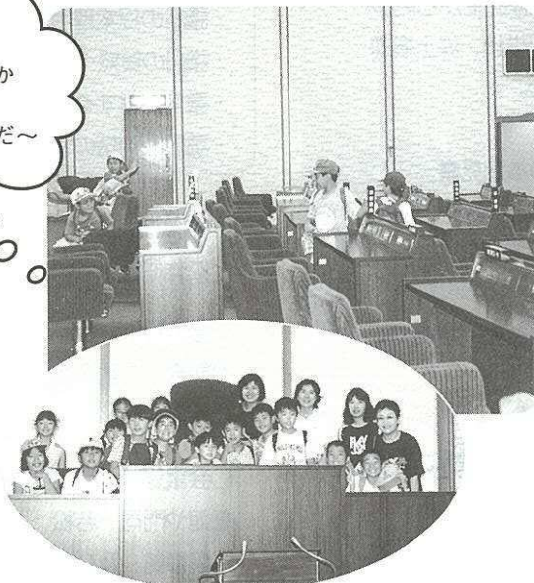
委員会室



うわ～
テレビでしか
見られない
部屋だ～

本会議場

夏休みに、親子づれで議事堂見学に来てくれた方々の様子を、紹介します。



いつか議長になって議長席にすわりたいなあ～

● 議会ひとくちメモ

764人

この数字は、9月定例会中に本会議や委員会を傍聴した方々の人数なのです。

また、去年1年間に議事堂を見学した方々の人数は、555人です。



市長の席も
いいなあ～

議事堂見学は、いつでもできるの？

本会議や委員会が開催されていないときは、議事堂の見学ができます。

見学時間は午前八時二十分から午後五時(土日・祝日を除く)です。

議事堂見学は、どうしたらできるの？

市議会事務局に電話し、見学を希望する日時、人数をご連絡ください。

議事堂見学の感想は？

議事堂を初めて見たので、とても感動しましたし、ひとつひとつの質問に「いいね」にこたえてもらえたので、議場のことなどがよくわかりました。

私は小学生で、まだむずかしい話が聞けなかったのですが、中学に入ったころにまた来て、こんどはもう少しむずかしい話をききたいです。(小学校五年生)

私は、会きなんかみたこともきいたこともないから、こんど一度見にきたいなあと思います。(小学校四年生)

六十四人の多くの人があつまって、話しあいをしたり、いろんなことをきいたりするところがあつたなんて、知りませんでした。(小学校二年生)

初めて会議場に入り、立派な場内を見て驚きました。また、「傍聴席から意見は言えないんですか」という子どもの言葉に、選挙の大切さを感じました。(母親)

初めて会議場を見学しました。市政がどのように行われているか、これからはもっと関心を持ってかわっていきたいと思います。(母親)

可決した意見書・決議

市議会では、市政や市民の生活にかかわりの深い事柄について改善等を求めるため、意見書や決議を国等へ提出することができます。

今定例会では、15件の意見書・決議が提出され、うち6件を可決しました。その件名などを紹介します。

●政府資金の低利借換、繰上償還を認めることを求める意見書

(要旨) 地方自治体が、政府資金から高金利で借り入れた地方債の低利借換、繰上償還を認める措置を要請するもの。

●大型油回収船の配備を求める意見書

(要旨) 外洋での油回収機能を備えた船の北九州港への配備実現を要請するもの。

●遺伝子組み換え食品の表示義務付けを求める意見書

●臍帯血移植治療の医療保険適用等に関する意見書

(要旨) 骨髄移植に比べ、多くの利点を持つ臍帯血(分娩後、へその緒から採取)移植治療の円滑な実施に向けて、必要な措置を早急に取るよう要請するもの。

●廃棄物対策の拡充を求める意見書

(要旨) 廃棄物の減量、再資源化を図るための施策の実現に取り組み、問題解決への長期的戦略を構築するよう要請するもの。

●新たな道路整備五箇年計画の策定に関する意見書

市議会の会議録を 読んでみませんか

市議会の会議(本会議)で話し合われた内容は、会議録として保存されていることを、ご存じですか。

会議録には、提出された議案などが、どのような審議を経て決まっていたかなどが掲載されています。

掲載内容

- ・議案の提案理由説明
- ・議員の質疑・質問と執行部答弁
- ・議案に対する討論と採決
- ・請願・陳情の審議結果 など

○会議録は、各定例会、臨時会ごとに作成されています。

○会議録は、定例会または臨時会が閉会して約3か月後に発行されます。

○会議録は、市立文書館、中央図書館や門司、若松、八幡、戸畑の各図書館、及び市議会事務局で閲覧できます。

☎ 詳しいお問い合わせは、
市議会事務局議事課
(☎582-2628) まで。

市議会ではな③



議会改革の取組

市議会では今年3月から、議会の改革・改善について、検討・協議を行っています。

8月に決めた市からの永年勤続議員に対する記念品料の辞退に次いで、特別委員会の政府陳情の廃止が決まりました。

5つの特別委員会の政府陳情を廃止

これまで政府陳情は、常任委員会と特別委員会がそれぞれ行っていましたが、重要緊急な案件を除いて、常任委員会で行うこととしました。これによる節約経費は、年間約500万円となります。

請願・陳情の審査結果

○請願「戸畑福祉文化センターの35ミリ映写機の買いかえについて」
《採択》

○請願「原町変電所建設予定地への市の施設建設について」
《不採択》

○請願「門司駅前への市民トイレ設置について」
《不採択》

○陳情「議会運営委員会の傍聴について」
《採択》

○陳情「遺伝子組み換え作物を原料とした食品の表示義務づけを求める意見書の提出について」
《採択》

○陳情「審議未了となった請願、陳情の審議継続について」
《不採択》

○陳情「本会議及び委員会の撮影・録音の自由化等について」
《不採択》

○陳情「委員会室の傍聴席の増設とかさ上げについて」
《不採択》

○陳情「議会棟へのモニターテレビの設置と託児施設の設置について」
《不採択》

○陳情「山手二丁目市有地の払い下げの取り消しについて」
《不採択》

このほか、請願29件、陳情27件は継続審査になりました。

お知らせ

▼市議会では、視覚障害(二級か二級)のある方に、市議会だよりの点字版、または録音テープを無料でお届けしています。

▼ご希望の方は、ご連絡下さい。

▼市議会だよりに関するお問い合わせやご意見、ご感想をお寄せ下さい。

▼次の定例会は十二月開催予定です。